

報道関係者各位(計 3 枚)

2014 年 4 月 22 日

MasterCard、アジア/太平洋、中東、アフリカ地域における 2013 年プリペイド事業 40%増

国境を越えた決済取引及び電子商取引が大きく貢献
旅行先やネット上でより安全・安心な決済を実現

MasterCard(本社:ニューヨーク州パーチェス)は、2013 年のアジア/太平洋、中東、アフリカ地域(APMEA 地域)における、プリペイドカード事業の総取扱額(GDV)が前年比 40%増となったことを発表しました。近年の業務提携や市場ごとのニーズに適したソリューションの提供が同事業の躍進に貢献しました。日本では、インターネットや海外旅行専用のプリペイドカード、およびプリペイド型電子マネーをインターネット上の MasterCard®加盟店で利用可能にする決済ソリューションの提供など、プリペイド事業を積極的に展開しています。これにより、旅行先やインターネット上において、より安全・安心な決済を実現します。

各市場での事例は以下のとおりです。

<日本>

- 日本初のインターネット決済専用のプリペイドカード「[楽天バーチャルプリペイドカード](#)」で楽天カードと業務提携
- 1枚のカードに7通貨の入金が可能な、海外旅行専用のプリペイドカード「[MasterCard マルチカレンシーキャッシュパスポート](#)」でトラベレックスと提携
- アクセスプリペイドジャパンと提携し日本初の IC チップ付きの法人向け海外専用プリペイドカード「[MasterCard コーポレートキャッシュパスポート](#)」を提供
- ネットショッピング専用のカードサービス「[MasterCard プリペイドねっと](#)」で、NTT スマートレードおよび三井住友カードと業務提携
- 電子マネー事業者が発行するプリペイド型の電子マネーを、インターネット上の MasterCard 加盟店で利用可能にする新たな決済ソリューションの提供において、三井住友カードと業務提携。電子マネーの利用範囲を飛躍的に拡大

<その他市場>

- 世界初のマイレージプログラムとプリペイドカードが一体になった「[One-Smart](#)」でニュージーランド航空と業務提携
- 次世代型プリペイドカード「[カンタス・フリークエントフライヤー MasterCard](#)」でカンタス航空と業務提携。オーストラリア初のロイヤルティプログラムとプリペイド機能を兼ね備えたカード
- インドにおける低所得者層向けの革新的な[モバイルコンパニオン・プリペイドカード](#)において、Beam Money 社と業務提携
- プリペイド機能を備えた [MasterCard ブランドの ID カード「National Identity Smart Cards](#)」の本格展開について、ナイジェリア政府と提携。同国において最大規模の正式な電子決済ソリューションを展開
- MasterCard のプリペイド・ソリューションを中東、北アフリカ地域(エジプト、カタール、レバノン、オマーン)で普及させるために、[Majid Al Futtaim Finance LLC と3年間の独占契約を締結](#)

国境を越えた決済取引や電子商取引の拡大、さらに先進国市場における革新的なサービス、新興国市場でのファイナンシャル・インクルージョン(低所得層への金融サービスの普及)の更なる浸透により、プリペイドカード事業は今後も力強い成長を続けると予測されます。

MasterCardのAPMEA地域プリペイドカード部門の責任者であるジェイソン・ティムズは次のように述べています。「ニュージーランドのような先進国市場において MasterCard は様々なニーズに応えるため、革新的なサービスを導入しています。たとえば、ニュージーランド航空と共同で、世界初のロイヤルティプログラムとプリペイドカードの一体型カード『OneSmart』を発表しました」と述べています。片面は、スピーディーな国内線搭乗を可能にする ePass 技術を備えたニュージーランド航空の「エアポイント」マイレージカードで、もう片面は、MasterCard のプリペイドカードになっており、為替レートを入金時に確定させるのみならず、外貨による入金も可能となります。

同様にオーストラリアにおいても、MasterCard はカンタス航空と共同で新たに「カンタス・フリースタイルフライヤー」メンバーシップカードを発行しました。このカードには新たなプリペイド機能「Qantas Cash™」が備わったことで、外貨入金や世界中の ATM での現金引き出しが可能になり、さらにはオーストラリア国内外を問わず使用した金額に応じてポイントを獲得できます。

さらにティムズは、「新興国市場には先進国市場とは大きく異なったニーズがあり、当社は、特に低所得層の金融サービスへのアクセスという基本的なニーズに応えるなかで、革新性を生み出しています」と述べています。

法人向け海外用プリペイドカードに対するニーズも高まっています。日本では 2013 年 9 月に、日本で初めてとなる IC チップ付きの法人向け海外専用プリペイドカード「MasterCard コーポレートキャッシュパスポート」の提供が開始されました。また、インドでは特に中小 IT 企業が、国際的なプロジェクトのために出張する従業員に対して海外用プリペイドカードを導入しています。海外での支払い手段だけでなく、中小企業における社員経費の把握や照合が容易になります。

中国における海外旅行人気の高まりと国境を越えた決済取引の可能性

ティムズはさらに次のように述べています。「[中国の海外旅行者数と海外での支出額が昨年世界一を記録した](#)ことから、プリペイド事業の成長にとって中国の存在は非常に大きなものです。中国人の海外旅行人気と高い購買力は、海外における電子決済のアクセプタンスと多通貨に対応した海外用プリペイドカードへのニーズが生じます。MasterCard キャッシュパスポートは、そうしたニーズにかなっており、旅行者は多額の現金を持ち歩く必要がない上、為替レートも入金時に確定されるので変動リスクを回避することができます。」

2013 年 1~9 月期における、中国人旅行者の海外渡航先での支出額は前年同期比で [28%の伸び](#)を示し、世界のトップです。2012 年の中国の海外旅行者数は 8,300 万人を記録し、世界で一位となりました。昨年は 9,700 万人に増加し、今年は 1 億人台に達するとみられます。2000 年にはわずか [1,000 万人](#)だったことを考えると、驚異的な伸びと言えます。

MasterCard は、これらの数字から今後中国はもとより、東南アジア、インドなどの新興国市場や日本を含む国境を越えた取引に大きなビジネスチャンスがあると考えています。

電子商取引もプリペイド事業を成長させる主要な原動力になりつつあります。[MasterCard のオンラインショッピング調査](#)によると、中国(97.8%)は今後半年間にオンラインショッピングが大きく伸びる可能性があります。さらに、ベトナム(91.4%)、タイ(84.2%)などの東南アジア諸国においても、今後半年間にオンラインで購入する意思があるとの回答が多く見られました。

###

MasterCard について

[MasterCard](#) (NYSE:MA)は、世界の決済業界におけるテクノロジー企業です。世界最速の決済ネットワークを運用し、世界 210 を超える国や地域の消費者、金融機関、加盟店、政府、企業を繋いでいます。多くの人にとってショッピング、トラベル、事業経営、財務管理など日々の商取引がよりシンプルで、安全かつ効率のよいものとなるプロダクト及びソリューションを提供しております。詳細は www.mastercard.co.jp をご覧ください。MasterCard のニュースをフォローするには Twitter で [@mastercardnews](#) へご登録いただくか、公式ブログ [Cashless Conversations Blog\(英語\)](#)、[Newsroom\(英語\)](#) をご覧ください。

MasterCard- Page 3

*Master Card、アジア/太平洋、中東、アフリカ地域における
2013年プリペイド事業40%増*

本件に関するお問い合わせ:

マスターカード マーケティング広報 小岩井

電話:(03) 5728-5237 eメール: miki_koiwai@mastercard.com

マスターカード広報代理

ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド株式会社 加々美/藤寄

電話:(03) 5427-7383/5427-7326 eメール: tkagami@webershandwick.com / kfujisaki@webershandwick.com